

『子供をゲーム依存から救うための本』

(オリヴィア&カート・ブルーナー、文藝春秋、2007.6.)

「この本にある警告や勧めは、子供が健康であることを心から願うあなたのために用意された、保険のようなものだ」というまえがきから本書は始まります。この言葉どおり、ゲーム依存から子供を救うための数々のヒントが書かれた著です。いくつか取り出して紹介します。

◆大人になったとき、責任感のある人間になるか怠け者になるか、強調性のある人間になるか孤立するか。その分かれ目となる時期に、ビデオゲームは大きな影響をもつ

◆子供にゲーム依存の傾向があるかどうか見分けるポイント

- ・車に乗っているあいだじゅうゲームをしている
 - ・家に帰るなり座ってゲームを始める
 - ・人というよりゲームをやっている方が好き
- そんな兆候があったら要注意

◆ゲーム依存はなぜ男子に多いのか

ゲームの多くは男性心理に訴える要素を意識して作られている。冒険、競争、技術の熟達などだ。

◆子供をゲームに依存させる数々のあやまち

- その1：ゲームを幼いころからはじめる
- その2：ゲームが身近にある
- その3：ゲームをだしに使う
- その4：「あともう1レベル」の罪にはまる
- その5：弱腰になる